

の発達指数は 121 と正常で、骨年齢も年齢相当と異常を認めなかった。しかし 7 カ月目に、身長伸び率の低下を認め、血清 TSH 値は、 $25\mu\text{U/ml}$  が顕性化する例を他にも 2 例経験しており、このような遅発顕性化クレチン症の存在に特に注意を喚起したいと思う。いずれにしても敏感な TSH によるマス・スクリーニングでも原発性クレチン症の発見もれのある事を知り、マス・スクリーニングを受けていても、臨床症状が少しでも疑わしければ甲状腺機能検査を再検する必要があることが痛感された。こういった事を憂慮して、大阪地区ではマス・スクリーニングでは異常なしと判定されてもその後の臨床症状からクレチン症が疑わしければ甲状腺機能検査を行う事を勧めている。新生児クレチン症マス・スクリーニングを少しでもより良い方向へ前進させることが出来るよう、新生児期に false negative を示した 1 例を報告した。

## 兵庫県（神戸市を含む）におけるクレチン症の疫学

兵庫医科大学臨床病理学 松岡 瑛  
同 中央臨床検査部 佐藤 良樹  
榎村 博之

### はじめに

1979年7月より実施してきたクレチン症スクリーニングにより現在までに15名の陽性児を発見した。これら陽性児の県内における分布並びに初回検査からの検査値の推移について報告する。

#### 表 1

この表は年次別に検査件数を調べたもので、兵庫県におけるスクリーニングでは年次と共にやや検査数が落ちている。月平均では約 4,000 件前後である。神戸市におけるスクリーニングは 1980 年 4 月より実施しているが、月平均で約 1,300 件となっている。

#### 表 2

これは今までに発見されたクレチン症から陽性率をみたものである。県では全体で 9,421 件に 1 例である。年次別では 1979 年に 25,461 件に 1 例しか発見されていなかったが 1980 年は約 9,800 人に 1 人、1981 年は約 6,800 人に 1 人の割合で発見されている。特に 1981 年は cut off を 4 パーセントとし、RIA キットをコーニング社製に変更したこともあり精度の上でも安定したデータが得られている。神戸市スクリーニングはまだ検査数が少ないので評価はしがたいが全体で 13,753 人に 1 人の発生頻度である。なお今年の 2 月に 1 例発見され、発生率は高まっている。

### 図1

これは兵庫県内における陽性者の分布図である。検数の多い都市部に陽性者が集っている。

### 表3

この表は昨年12月までのクレチン症15例（症例3及び14は一過性）全ての濾紙 TSH、 $T_4$  値及び治療機関を表わしている。男女比をみると男6：女9とやや女児が多い様である。生まれ月の分布は9月から11月にかけて7例と約半数とやや片寄りが見られるが例数が少ないのでなんとも言えない。

### 図2

これは神戸大学病院で治療を行った症例2についての検査データの推移を見たものである。初回スクリーニングで血中 TSH  $137\mu\text{U/ml}$ 、再採血で  $184\mu\text{U/ml}$  と上昇、 $T_4$  も  $2.1\mu\text{g/dl}$  と異常値を示していた。又臨床的にも臍ヘルニア、巨舌や骨成熟遅延を認めクレチン症が疑われていた様である。その後 TSH は  $200\mu\text{U/ml}$  を超え、血中  $T_4$  も  $1.9\mu\text{g/dl}$  と低値を示し、血清 CPK は  $402\sim 2993\text{IU/l}$  の高値であった。生後45日目より L- $T_4$  粉末を  $50\mu\text{g/day}$  投与による治療が開始されている。治療開始より3週目から血中 TSH は正常域となり、血中  $T_4$  も正常化し、体重増加も順調であった。L- $T_4$  投与は検査データにより若干の変更はあったが現在は  $60\mu\text{g/day}$  となっている。

### 図3

これは治療開始前と治療中6週目に行った TRH 負荷テストの血中 TSH 値の変動である。治療前のテストでは負荷前から2時間値まで血中 TSH は異常高値が続いていた。治療中のテストでは負荷前血中 TSH  $11.3\mu\text{U/ml}$ 、最高値は負荷後1時間の  $59.1\mu\text{U/ml}$  であった。

以上、我々が行ったクレチン症スクリーニングにおいて15例発見されている。これらについて疫学的調査と一部症例について報告した。

## 年次別検査件数の推移

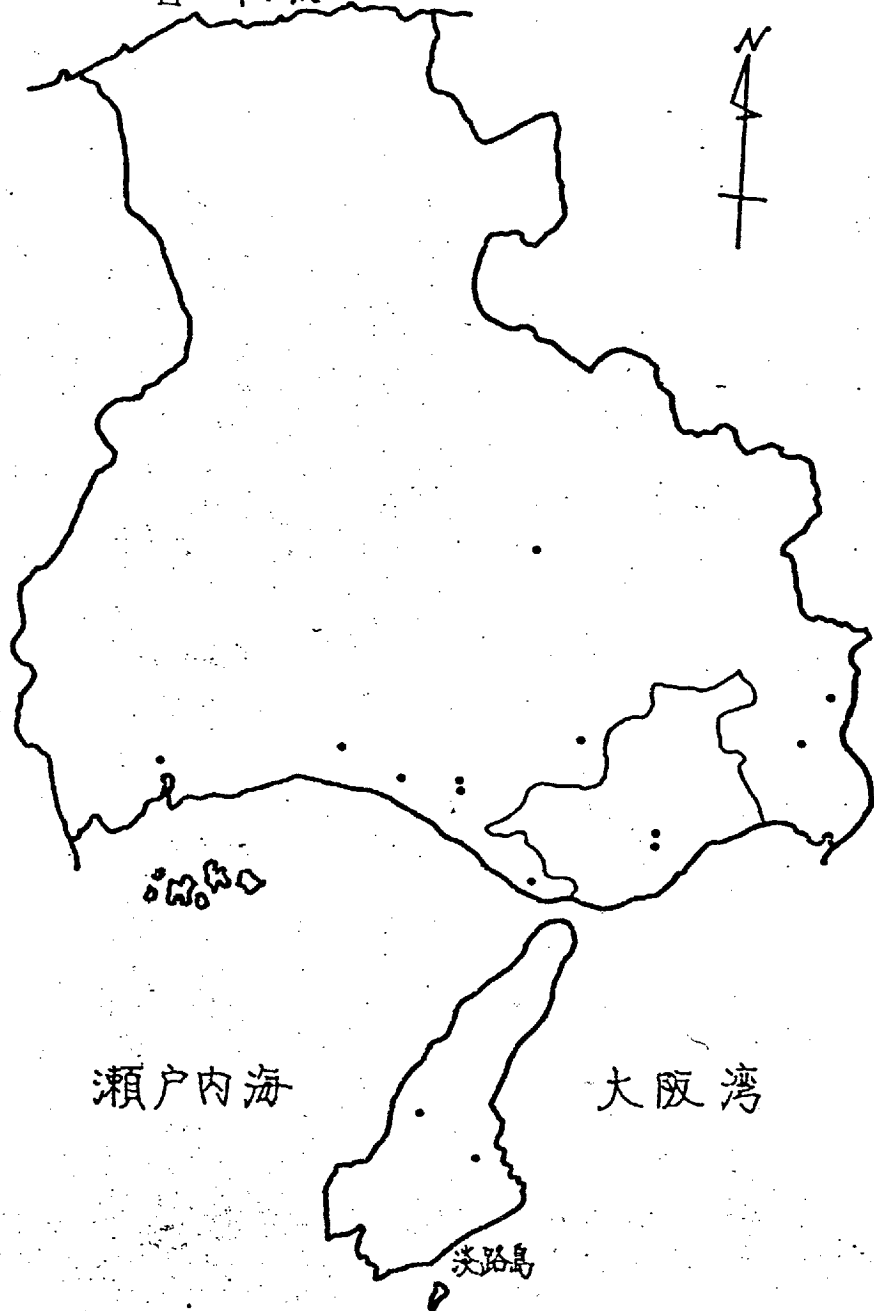
		1979 (7月より実施)	1980	1981	計
		兵庫県	総検査件数	25,461	49,444
平均検査件数	4,244		4,120	3,964	4,082
神戸市 (1980.4.~)	総検査件数		11,908	15,597	27,505
	平均検査件数		1,323	1,300	1,310

## 総検査件数と陽性率

	検査件数	陽性数				陽性率
		1979	1980	1981	計	
兵庫県 (1979.7.~1981.12.)	122,472	1	5	7	13	1:9421
神戸市 (1980.4.~1981.12.)	27,505		1	1	2	1:13753

# 兵庫県内における陽性者の分布

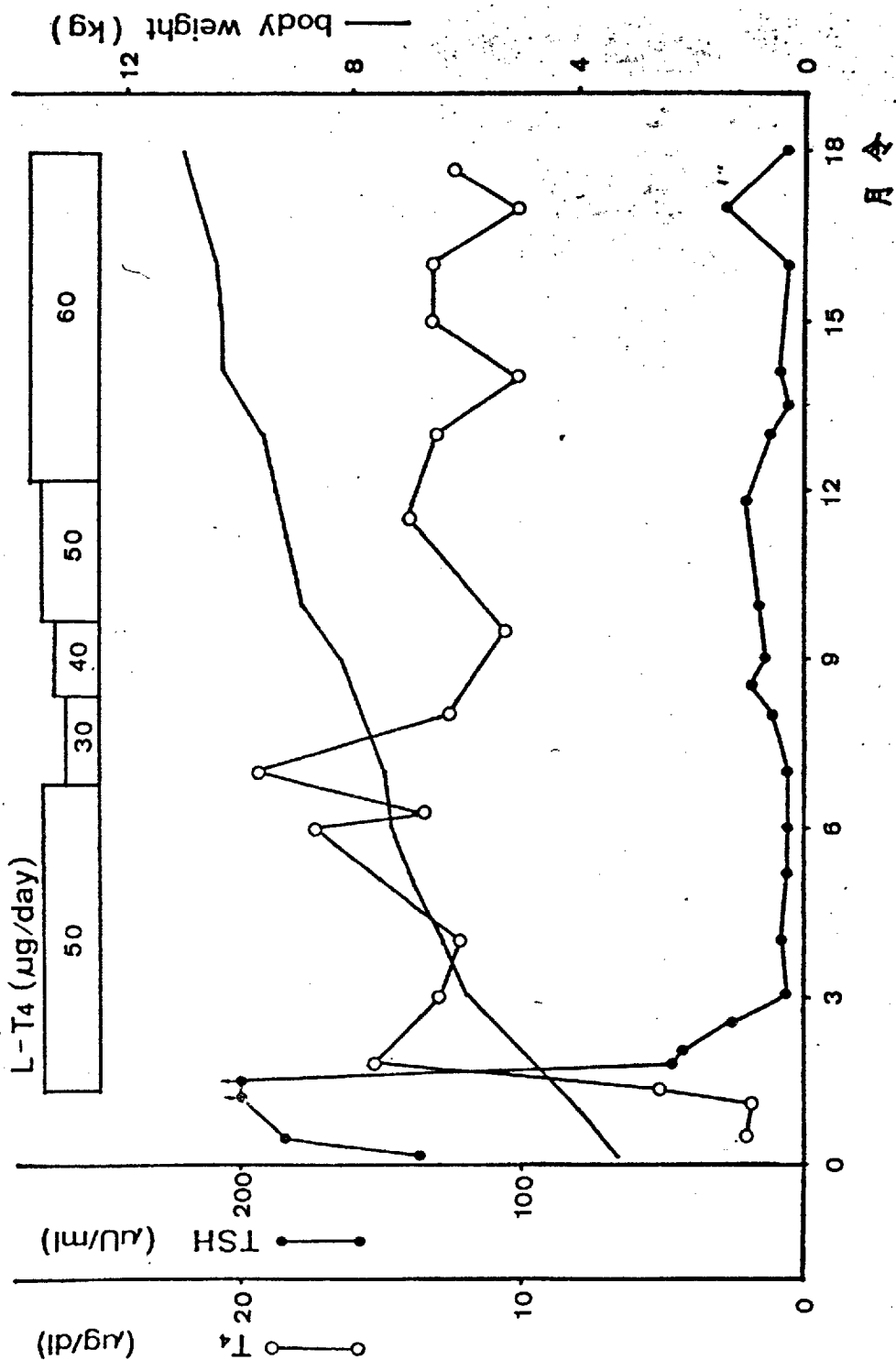
日本海



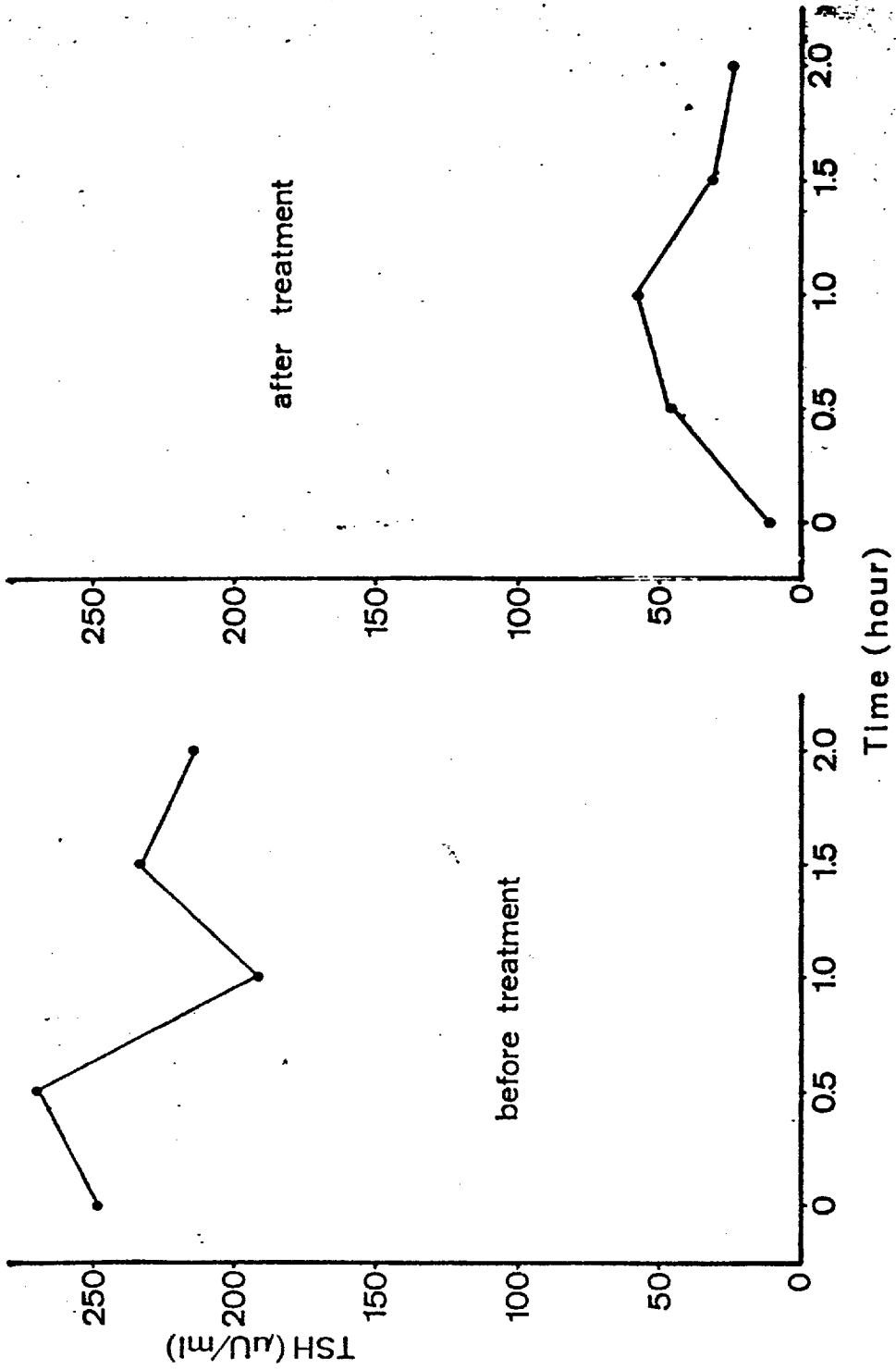
## 陽性者一覽表

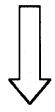
氏名	性別	生年月日	filter paper TSH $\mu\text{U/ml}$		filter paper	治療機関	
			初日	再採血	T <sub>4</sub> $\mu\text{g/dl}$		
1	N.A.	F	S54.6.12.	164.3	—	1.1	加古川市民病院
2	R.H.	F	S55.2.20.	137.0	184.1	2.1	神戸大学病院
★3	M.Y.	M	S55.4.12.	18.0	151.8	2.0	神戸大学病院
4	H.I.	F	S55.9.12.	147.3	240.7	2.3	神戸大学病院
5	T.A.	M	S55.9.25.	99.7	188.1	5.0	甲南病院
6	M.K.	F	S55.10.14.	153.0	222.8	3.6	兵庫医大病院
7	Y.K.	M	S55.10.15.	63.7	111.6	4.8	県立こども病院
8	D.O.	M	S56.1.26.	111.2	167.8	2.5	神戸大学病院
9	M.F.	F	S56.2.21.	31.0	180.5	1.0	神戸大学病院
10	M.T.	F	S56.4.18.	112.8	121.6	2.9	神戸大学病院
11	K.H.	M	S56.7.17.	137.9	160↑	0.9	神戸大学病院
12	M <sup>Baby</sup>	M	S56.7.23.	44.5	145.7	2.2	県立こども病院
13	Y.N.	F	S56.10.27.	160↑	160↑	1.6	加古川市民病院
★14	M.C.	F	S56.11.9.	56.1	139.7	0.8	神戸大学病院
15	N.T.	M	S56.11.25.	160↑	160↑	0.7	国立岡山病院

# CASE 2 R.H

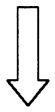


# TRH Test





**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

1979年7月より実施してきたクレチン症スクリーニングにより現在までに15名の陽性児を発見した。これら陽性児の県内における分布並びに初回検査からの検査値の推移について報告する。